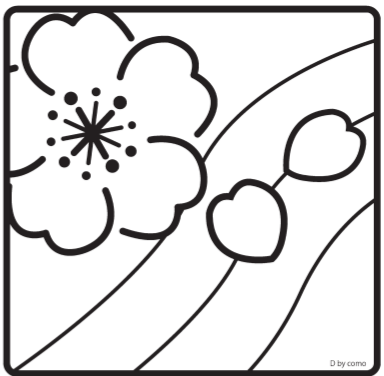


# ロスプリベントへの道4 協働防犯(26)

## 監督やセキュリティ担当者向け応援歌 夫婦桜と建監査室長事件簿と、その四



であった。本人が着るためのものではない。寔は「盗んだものをお母さんにプレゼントしても嬉しいと思うか。バカヤロウー」



した。本社スタッフのスペシャリスト手当の件も同じように残業費復活の是正措置を取るよう指示がありました。改善案を策定していますが、三億円ほどの人件費がアツプの見込みです。利益目標の達成のために営業本部で立てていただいた人事制度でしたが、元に戻すしかありません。寔は森永の言い分が納得いかなかった。なぜなら、原因が営業本部にあるような言い方だったから。しかし、営業部長の岡本は平然とした顔をしていた。部門の長とはこのようではなければならないのだと思った。次に人事部長の笠原が補足説明をした。

### 第四章

二人を乗せた車は目黒川を越え、店舗の桜の木の下に戻った。寔が切り出した。先ほどのセーターを手に取り「このセーターは誰のですか？」

「それ、私が購入したものです」と榎戸が答えた。

「ここに値札が付いているでしょう。社員の場合は値札を伝票に貼っておくルールでしょう」

「すみません。値札を外し忘れたんですね」

「今、正直に言ってもらえば、考慮するぞ」

榎戸「何をいうんです。それは先週購入したものです」

「よし、分かった。いまから確認しようじゃないか」

榎戸「今からですか…」

結局、そのセーターは榎戸が盗んだ商品だった。店内に戻った寔は、榎戸が購入したと説明した日付のレジ・ジャーナル(販売取引記録)を調べたが該当する内容は無かった。そして、榎戸は次のことを自白した。盗んだセーターは、クリスマスに母に送るつもりだったという。先日、都内にみぞれ混じりの雨が降ったときに母のことを思い出した。榎戸の母は東北の雪深い山里に一人暮らしをしている。寔が持っている榎戸に関する人事ファイルの内容と合致している。彼の言った内容に間違いはないだろう。事実、彼の盗んだものはSサイズのグレー地のフイッシャー・マンセーター

てきた。寔はすべてを話した。笹瀬店長は理解したようだった。最後に不明金の十万円は次の賞与で弁済してほしい旨を伝えてきた。その日の夕方FAXで届いた始末書にも同じことが書き記されていた。

「本気でやれば誰かが助けてくれる。しかし、本気じゃないと誰も救ってやることはできない…」

売場からすすり泣きが聞こえる。ドアを開けると誰かがうずくまっていた。それは、帰ったはずの靖子だった。

「先輩、アドバイスある。山見弁護士とも連絡を取りながら進めていきたいと思ひます」

「少し迷いましたが…」

「まあ、結局、お金は見つからなかったわけだし、この後の会議では責められると思うぞ。しかし、社長の目線は外すなよ」と中田は忠告してくれた。

「はい、そうします」

「俺なら、怖いから目線を外してしまうけどな。アハハ」

中田はちゃめつけっぱいに笑い、タバコに火をつけた。

時間通り幹部情報交換会議は八時からスタート

まず、経営戦略本部長の森永が労働基準監督署から呼び出しがあったことを説明した。

「入社二年目社員の残業費を管理職手当てに切り替えた件で、監督署から改善指示を受けま

三点に分けて説明した。一番目として、残念ながら今回の不明金は発見されなかったこと。これに関しては、店長及び店舗正社員が弁済すること。二番目として、調査の過程で一年前の不明金が発見されたこと。三番目として、副店長の窃盗行為があり、即刻解雇したこと。

森永は、副店長への調査と弁済方法が甘い点を指摘した。不正対応の場合、所属店の舗不明ロス額まで弁済させることが多い。公認会計士の資格を持つ森永は半期ロスの七十万円も弁済すべきだと主張した。

「山見弁護士の話では、当社らしい年商規模のチェーンストアの店舗が軒並み労働基準の査察が入っているとのことだ。山見弁護士とも連絡を取りながら進めていきたいと思ひます」

佐伯幸三社長は言った。

「この緑野区で一番税金を納めているのは当社(ウチ)だ。経費が増して経常利益が減れば区に入る税金が減る。つまり自分のところの収入が減る。役人とはそうしたこと考えないものなのか。役人とは面白いものだ。うふふ。人件費がかかるのは致し方ないが、だから仕事をし給料が貰えるという制度では、従業員一人一人のために必要ない。今ひとつ工夫が必要だ。つねに話しているように経営とは矛盾との闘いだ。監督署や弁護士の見聞がなく、現場の意見も聞きながら当社らしい制度を作ってほしい」

今日はその以外に大きな話題はなく、寔の番が来た。寔は、調査結果を

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

ねなく参加できる。夕方から雷門の近くの「明かり」というもんじゃ焼き屋に集まることになってる。少し時間があつたので、川べりにいた。仲見世の混雑にくらべ、ここは時がゆっくり流れている。西に傾いた太陽光が水面に反射して水面が琥珀色に輝いている。一月中旬としては、風もな

本気！ 本気でやればほいたいていことはできない。本気！ 本気でやるとなんでも面白い。本気！ 本気でやると誰かが助けてくれる。人間を幸せにするために本気で働いている人は、みな幸せでみな美しい！

声の主はベビーカーを押す母親からであった。「寔さん、こんにちわ。津田靖子です。今は榎戸靖子といます」

確かに津田靖子だった。あの事件の後、榎戸を追うように退職したはずだった。

「津田さん？ そうか、結婚して、お子さんまで。よかった…」

「寔さん、また、川を見ていましたね」と笑いながら話しかけて来た。そして、二人は川べりのベンチに腰掛けて話を続けた。靖子が会社を退職したのは、母の看病のためだったのだという。残念ながら母親の癌の進行は止められず、あの事件の三月月後に亡くなったのだ。夫の榎戸はこの近くのスーパーマーケットで働いているという。今は雪深い里で一人暮らしをしていた榎戸の母を引き取り、一歳になる女の子と四人で暮らしているのだという。

そして、寔は監査室長を解任され、今は店長をやっていいることを話した。

「期末なのでブロック長からは非でも達成しろという指示がありました。既に閉店時間を一時間過ぎ、本社から早く精算処理をしろと連絡がありました。でも、そのとき、あと二十万円で予算達成というところまで来ていたんです。売上達成のために笹瀬店長と榎戸は私服やスーツを購入し

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

ました。わたしも何か買いたいていことはできない。二人はその必要はないと言ってくれました。でもまだ、目標までは十万円不足していました。それで笹瀬店長が架空の売上処理をしたのです。そのことは榎戸と私は知っていました。そして、レジの現金有り高が十万円不足していたこともで

西から作業船が上って船尾に続く白波が辺りの小船を揺らしている。寔は沈黙したが、もう心が揺れることは無かった。

作業船が去り、「今は幸せですか」と靖子に尋ねた。靖子は「幸せです」と答えた。

吾妻橋を腰の曲がった老婆が歩いている。その老婆に向かって靖子は手をふった。

セルフレジ不正の増加に呼応するかのようについているとお聞きしております。その防止をする

転職の話は断り、店長を続けることを決めた。寔は、何かを口ずさみながら歩きたした。波間に見える漁(いさり)火と幾千の星を指す

追分の海

木の葉のように揺られ

きつと誰も避けられぬ

完

夫婦桜 連載記念！工業会日本万引防止システム協会(JEAS)より

セルフレジ不正の増加に呼応するかのようについているとお聞きしております。その防止をする

転職の話は断り、店長を続けることを決めた。寔は、何かを口ずさみながら歩きたした。波間に見える漁(いさり)火と幾千の星を指す

追分の海

木の葉のように揺られ

### 結論：人の良心を守る仕組み作り

#### 夫婦桜の教訓

花(成果)だけでなく、葉が落ちた冬(苦境)の樹を守ることにこそ重要。

「不正を見つける」監査から、「不正をさせない」環境作りへ。

「義母(はは)です」

寔は老婆に一礼をした。

「それじゃ、寔さん、お元気で」

靖子は去り際にこうい残した。

「この子の名前は、さくらです」

遠ざかる親子を見送りながら、寔は花ではなく、長年月を生きる桜の樹になろうと思った。

全国の万引犯罪防止機構(通称:マンボウ) 万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人 文:事務局(稲本義範)

